



2023年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月27日

上場会社名 株式会社AmidAホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7671 URL <https://www.amida.holdings/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 藤田 優
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼グループ統括管理本部長 (氏名) 浅田 保行 (TEL) 06 (6449) 5510
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第2四半期の連結業績(2022年7月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第2四半期	1,466	△3.4	202	△0.2	203	0.2	134	0.2
2022年6月期第2四半期	1,518	△3.8	203	△6.0	203	△7.3	134	△7.4

(注) 包括利益 2023年6月期第2四半期 134百万円(0.2%) 2022年6月期第2四半期 134百万円(△7.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第2四半期	31.99	—
2022年6月期第2四半期	31.93	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第2四半期	2,677	2,233	83.4
2022年6月期	2,585	2,176	84.2

(参考) 自己資本 2023年6月期第2四半期 2,233百万円 2022年6月期 2,176百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	18.50	18.50
2023年6月期	—	0.00	—	—	—
2023年6月期(予想)	—	—	—	18.50	18.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日~2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,060	0.2	348	△20.4	348	△20.4	224	△22.7	53.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年6月期2Q	4,208,200株	2022年6月期	4,208,200株
② 期末自己株式数	2023年6月期2Q	354株	2022年6月期	354株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年6月期2Q	4,207,846株	2022年6月期2Q	4,207,846株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の対応も新たな段階へと移行が進む中、インバウンド関連を含む経済活動が徐々に再開する状況となり、景気に持ち直しの動きもみられるものの、ロシアによるウクライナへの侵攻の長期化などで地政学リスクの高まりを背景とした世界的な資源価格の高騰に加え、円安水準が高止まりしていることで、原材料費の高騰による企業収益への影響やエネルギー、食品等の価格高騰による個人生活への影響についても収束が見えておらず、厳しさなどが更に表面化しており、依然として先行きは不透明な状況で推移しております。

当社グループの主要事業であるEC通販市場は、新型コロナウイルス感染症の拡大によって生活スタイルが変化したことで、EC化率(全ての商取引のうち、電子商取引が占める割合)の上昇につながり、拡大傾向にあります。一方で印章業界市場全体では、デジタル化の促進等により、市場規模は減少傾向にあり、企業間競争は更に激しくなる状況が続くと考えております。

このような環境の下で、当社グループにおきましては、インターネットビジネスの可能性を追求し、一人でも多くの方にその利便性・楽しさ・文化的な豊かさを伝え、グローバルな経営に取り組むという経営方針の下、既存のデジタルマーケティング事業による集客と、販売、製造、出荷まで行うEC通販事業をグループ全体で一貫通貫型の事業体系として取り組んでまいりました。また、ECサイトへの集客面においては、引き続き自然検索順位の安定のためのgoogleアルゴリズムへの対応を図るとともに、顧客流入経路の変化(スマートフォン経由の流入が7割超)に伴いWEB広告(広告のクリックに対して料金が発生するWEB広告など)での集客が増加することからコストバランスを重視した広告運用を引き続き実施し、原材料価格等の上昇による売上総利益率の影響については、生産効率の向上を図ることで維持いたしました。

当第2四半期連結累計期間においては、購入を目的とする顧客への販売系サイト(「ハンコヤドットコムサイト」等)の自然検索順位は上位で安定しており、流入数の向上を目的とした広告施策を行ったことにより、販売系サイトへの訪問数(流入数)は前年同期比11.5%増で推移いたしました。情報系サイトへの流入数は減少しましたが、グループサイト全体の流入数は8,496,460件(前年同期比4.7%増)となりました。CVR(流入数のうち実際に購入に至った割合)は2.4%(前年同期と比べ0.2ポイント減少)となり、受注件数は前年同期と比較して8,882件(前年同期比4.2%減)減少いたしました。

その結果、EC通販事業におきましては、売上件数は203,209件(前年同期比4.4%減)、客単価は7,215円(前年同期比1.0%増)となりました。

主な商材区分別の状況は、彫刻(主に印鑑及び印鑑ケース等の取り扱い)では、売上高は835,970千円(前年同期比3.2%減)となり、スタンプ(主に浸透印及びゴム印等の取り扱い)では、売上高は364,618千円(前年同期比5.4%減)となり、印刷(主に名刺、カレンダー等の取り扱い)では、売上高は210,177千円(前年同期比7.3%増)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,466,039千円(前年同期比3.4%減)となりました。一方で、WEB広告の効率的な運用及び人件費率の削減等により販売費及び一般管理費が減少し、営業利益は202,831千円(前年同期比0.2%減)、経常利益は203,552千円(前年同期比0.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は134,617千円(前年同期比0.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,231,089千円となり、前連結会計年度末に比べ48,440千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金22,675千円、売掛金16,715千円、商品及び製品3,270千円の増加等によるものであります。また、固定資産は446,371千円となり、前連結会計年度末に比べて43,675千円増加いたしました。これは主に、無形固定資産53,724千円の増加及び有形固定資産10,711千円の減少等によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における資産合計は2,677,461千円となり、前連結会計年度末に比べ92,116千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は367,541千円となり、前連結会計年度末に比べ35,343千円増加いたしました。これは主に、買掛金60,077千円の増加及び未払法人税等23,907千円の減少等によるものであります。また、固定負債は76,480千円となり、前連結会計年度末に比べ変動はありません。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における負債合計は444,021千円となり、前連結会計年度末に比べ35,343千円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,233,439千円となり、前連結会計年度末と比較して56,772千円増加いたしました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上134,617千円に対し、配当金の支払い77,845千円により、利益剰余金が56,772千円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ22,675千円増加し、1,780,508千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は163,851千円(前年同期比14.1%増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益203,552千円、減価償却費20,274千円及び仕入債務の増加額60,077千円等の増加要因及び売掛債権の増加額16,715千円及び法人税等の支払額93,531千円等の減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は63,570千円(前年同期比373.8%増)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出6,003千円及び無形固定資産の取得による支出57,284千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は77,604千円(前年同期比0.1%減)となりました。これは、配当金の支払額77,604千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の連結業績予想につきましては、2022年8月10日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,757,833	1,780,508
売掛金	81,600	98,315
商品及び製品	85,587	88,858
仕掛品	447	641
原材料及び貯蔵品	245,453	241,233
その他	11,726	21,531
流動資産合計	2,182,649	2,231,089
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	88,430	90,692
機械装置及び運搬具(純額)	108,171	95,635
工具、器具及び備品(純額)	2,694	2,257
土地	113,078	113,078
有形固定資産合計	312,374	301,663
無形固定資産		
ソフトウェア	19,824	16,298
その他	36,202	93,453
無形固定資産合計	56,027	109,751
投資その他の資産	34,293	34,956
固定資産合計	402,695	446,371
資産合計	2,585,345	2,677,461
負債の部		
流動負債		
買掛金	44,928	105,005
未払金	148,291	152,840
未払法人税等	82,617	58,710
契約負債	7,076	8,764
その他	49,285	42,221
流動負債合計	332,198	367,541
固定負債		
役員退職慰労引当金	76,480	76,480
固定負債合計	76,480	76,480
負債合計	408,678	444,021
純資産の部		
株主資本		
資本金	79,913	79,913
資本剰余金	69,913	69,913
利益剰余金	2,027,134	2,083,907
自己株式	△294	△294
株主資本合計	2,176,666	2,233,439
純資産合計	2,176,666	2,233,439
負債純資産合計	2,585,345	2,677,461

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
売上高	1,518,236	1,466,039
売上原価	736,852	711,758
売上総利益	781,384	754,280
販売費及び一般管理費	578,180	551,449
営業利益	203,204	202,831
営業外収益		
受取利息	7	8
助成金収入	17	702
その他	13	11
営業外収益合計	38	721
経常利益	203,242	203,552
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	203,242	203,552
法人税、住民税及び事業税	67,272	69,624
法人税等調整額	1,595	△689
法人税等合計	68,867	68,934
四半期純利益	134,375	134,617
親会社株主に帰属する四半期純利益	134,375	134,617

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	134,375	134,617
四半期包括利益	134,375	134,617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	134,375	134,617
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	203,242	203,552
減価償却費	33,891	20,274
受取利息	△7	△8
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△5,976	△10,400
売上債権の増減額 (△は増加)	△28,488	△16,715
棚卸資産の増減額 (△は増加)	14,276	755
仕入債務の増減額 (△は減少)	36,775	60,077
固定資産除却損	0	0
その他の資産の増減額 (△は増加)	2,770	△9,495
その他の負債の増減額 (△は減少)	△3,073	9,332
小計	253,409	257,374
利息及び配当金の受取額	7	8
法人税等の支払額	△109,846	△93,531
営業活動によるキャッシュ・フロー	143,570	163,851
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,473	△6,003
無形固定資産の取得による支出	△2,943	△57,284
差入保証金の差入による支出	-	△283
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,417	△63,570
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△77,696	△77,604
財務活動によるキャッシュ・フロー	△77,696	△77,604
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	52,455	22,675
現金及び現金同等物の期首残高	1,567,892	1,757,833
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,620,348	1,780,508

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、EC通販事業以外の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。